

校長室だより



2013(H25)年度 NO.2. 岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

「平成25年度 岸和田市立浜小学校 経営方針」をお知らせします。

2013, 5

【めざすもの】 - 子どもの笑顔があふれる学校 -

- ①・めざす子ども像、クラス像を明確に！「教室はまちがうところだ」
- ②・「たのしくて」「分かる」「できる」「分かち伝える」学習で絆を
- ③・熱いハートと冷静な頭脳(生活指導の充実)
- ④・地域との連携を密にして安心・安全な学校に(地域とともに)

- 子どもの笑顔があふれる学校 -

はじめに

まず、初めの大きなテーマ「子どもの笑顔あふれる学校」の「笑顔」とは先生に対する信頼を意味します。先生と子どもの関係が「笑顔の信頼」で結ばれることが学級づくりで最も大切なものの一つだと考えます。そのためには、まず、「先生から子どもたちに笑顔を！！」「温かいまなざしで子どもたちに安心を」がキーワードだと考えます。そのために、私も先生方を笑顔で応援していくとともに、毎朝、正門で『笑顔で』あいさつをして子どもたちを迎えます。

①'・めざす子ども像、クラス像を明確に。「教室はまちがうところだ」

(「この先生でよかった」よりも「このクラスでよかった」といえるクラスに)

本校のめざすクラス像・子ども像は、『物事を暴力で解決せず、論理的に考える力をつけフォロワーシップ(見抜く力)を身につけ、話し合いで解決し、筋道を立てて考える子どもを育てる(クラスにする)ことです。』そうすることで、いじめや仲間外れをなくし『浜は一つ』の絆を深めたいと考えています。また、子どもたちが、先生に依存せず、自分たちのクラスのことは自分たちで考えて動くクラスをめざします。言いたいことが言えて、分からないことがあれば友達が教えてくれる。それを裏で支えているのが担任なのです。教師は「いい先生」と呼ばれることを目標にするよりも「めざすクラス像」を明確にした実践の方が大切なのです。

あいさつをしよう



②'・「楽しくて」「分かる」「できる」「分かち伝える」学習で絆を。日々の授業改

善が求められている。研究推進からの提案を真摯に受け止めて実践化します。

子どもたちの集中できない原因の一つに授業が「面白くない」「分からない」「できない」ことにあると考えます。教師力アップ(授業改善)で「楽しく」「分かる」「できる」授業をめざします。めざす授業像

1. 「教師が教えたいと考えた内容を子どもが学びきったか」
2. 「子どもが学ぶ過程で豊かな人格形成を遂げたか」

そのためには

この教材で子どもたちにつけたい力は何か？内容は？そしてどんな方法？で学ばせるのか。など目的・内容・方法を統一的に捉え実践していきます。

子ども一人ひとりに基礎的基本的な学力を定着させ、自ら考え・学ぶ「確かな学力」を身につけさせます。

そのために、具体的に1時間の授業のルーティーン【次の5点】を確立していきます。(算数科を中心に)

1. 学びを日常生活に結び付け、「問う学習」を組み立てる。
2. 考える時間を必ず保障する(一人や集団で)
3. 考えたことを発表し、意見交換する場を設定する。
4. 自分の言葉で、学んだことをノートする。
5. 授業評価(教師。子ども)を大切にする。

以上のことを毎時間実践していきます(とくに算数では必ず)。めざす授業像をしっかりと持ち取り組む以外に「子どもたちの学び」を変えることはできません。

「授業評価」を研究授業の後必ず実施します。その内容は以下のとおりです。

- ①「この時間の子どもにつけたい力は明確か」
- ②「そのための主発問は適切であったか」
- ③「子ども同士の学び合いはできたか、そのための教師のアプローチは適切か」
- ④「子どもがノートにまとめるための指導・助言や板書は適切か」
- ⑤「つけたい力に沿ったまとめが子どもは書けていたか」

について4段階評価(とてもできている・できている・あまりできていない・できていない)

- ・そのために日頃から教師同士、授業の相互参観・観察を行い、指導方法や子どもへの対応など互いに学び合っていく。(なるほどと思ったことは取り入れ実践していきます)
- ・日頃から授業や教材について語り合い、教材研究や指導方法を学び合っていきます。
- ・学年や隣接学年そして、学校全体で授業づくりについて取り組んでいきます。

③'熱いハートと冷静な頭脳(生活指導の充実)について

大人であっても子どもであっても、突然はキレません。原因の分析(アセスメント)と関わり方の計画(プランニング)について冷静な頭脳が必要です。そして、子どもを尊重し、愛する熱いハートが必要です。失敗したらやり直せばいいのです。(トライ&エラー)で、子どもたちを応援する生活指導の構築をめざしたいと考えています。

④'地域との連携を密にして安心・安全な学校に(地域とともに)について

今年度の目玉＝浜市民協議会と連携して地震対策。地域と共に避難訓練を実施します。(1月の予定)

・その他、教職員が互いに助け合い、高め合い責任を持って業務を遂行することで学校集団として組織的に機能できるようにしていきます。

- ・教育実践には失敗はつきものです。失敗の後は「誠実」がキーワードです。失敗は当たり前(子どもも教師も)
- ・生活全般については小さな学校ですから教職員全員で子どもたちに関わります。学校運営は、各主担者を中心に企画・立案・実践・総括(評価)を組織的に行っていきます。
- ・金曜日の職員朝会「ちょっと気になる子どもの話」では問題の分析と方向を考えながら話をしたり聴いたりする習慣を身につけます。【分析と総合】「失敗の実践は必ず役に立つのです」(『教室は間違えるところ』と同じです。) —どうぞよろしくお願ひします—